

⑤福泊の地神様

鎮座 : 岡山市中区福泊328-6番地

来歴 : 江戸時代末期 1855 年（嘉永7年）に現在のバス停付近に建立された。大正14年県道改修にともなって現在の場所に移転した。

社日の日は、夏（月日不明）農作業をしない日として一日休みをとっていた。

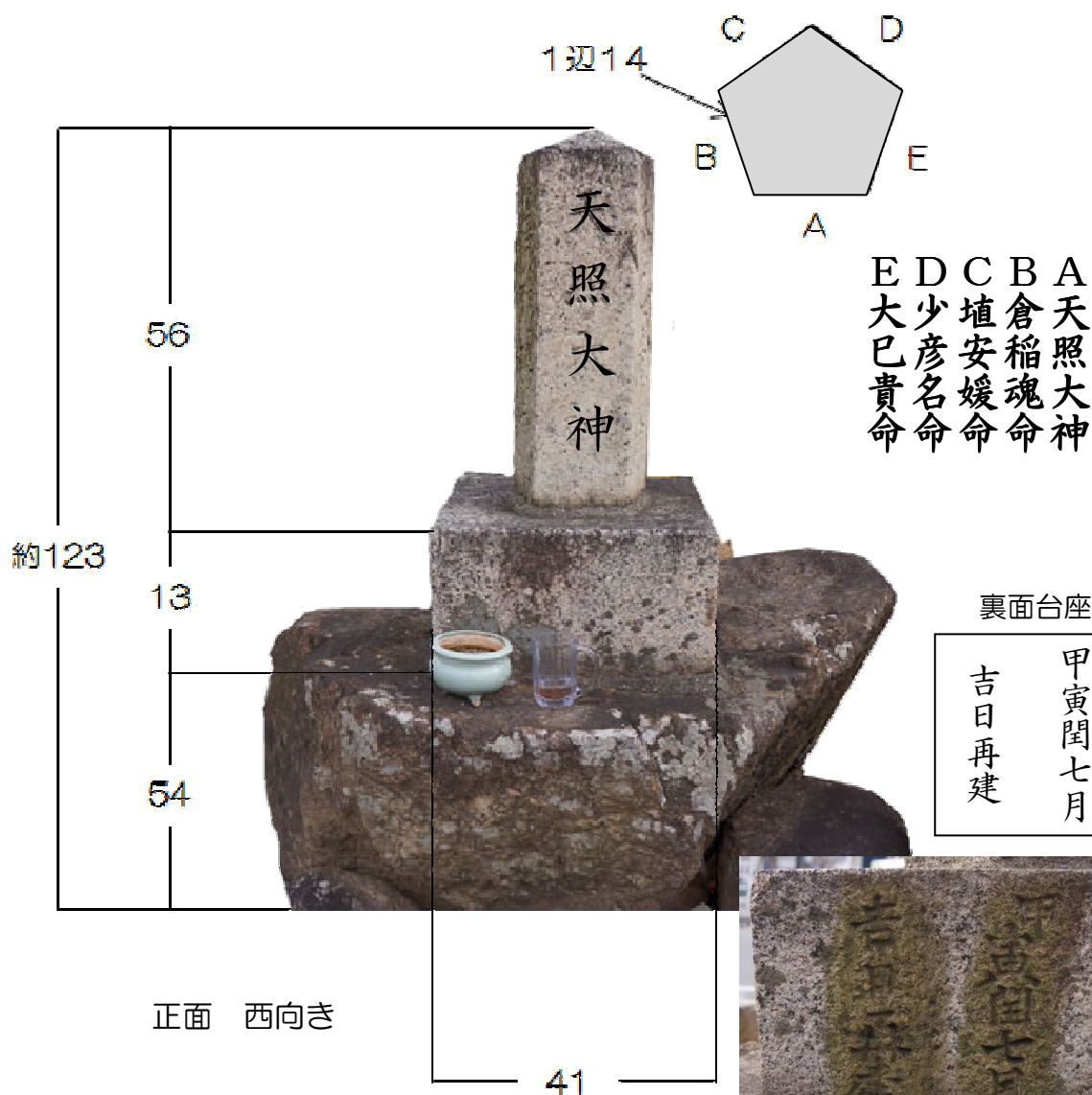
祀りは、当番が竹を立て、しめ縄をはり菓子酒米などをお供えをした。お参りした人はお賽銭を盆にのせ、子どもはお菓子を、大人は酒（一升瓶）をいただいていた。

社日は、農家の減少と時代の推移で次第に廃れ、現在では、忠魂碑にお参りする遺族の方が忠魂碑の掃除をするときに掃除やお供えをしている。

材質 : 五角柱碑・台座 御影石（花崗岩）

形状 :

福泊地神様寸法図（単位：cm）



※ 大己貴命は正しくは大己貴命である